

令和4年度「障害者の生涯学習支援活動」に係る文部科学大臣表彰 被表彰者一覧

番号	推薦者名	被表彰者の名称	ふりがな	表彰種別	通算年数	活動内容等	活動分野	主な対象
1	北海道	伴走サークル楽・RUN	ばんそうさーくるらんらん	功労者	24年	長年にわたり、市内障がい者支援施設（知的障がい者）の利用者を中心に、スポーツに親しむ機会の少ない障がいのある方を対象にマラソン大会などで伴走活動を行っている。	スポーツ	知的障害
2	青森県	東 信昭	ひがしのぶあき	功労者	21年	特別支援学校に勤務した際、特別支援学校の卒業生からの要望を受けて絵画指導したことがきっかけとなり、その後、21年間にわたり障害者対象の絵画指導を継続している。	文化芸術	すべて
3	岩手県	ぼけつの会～重い障がいの子供たち・人たちの地域生活を豊かにする会～	ぼけつどのかい～おもいしょうがいのこどもたち、ひとたちのちいきせいかつをゆたかにするかい	功労者	25年	活動期間は今年で25年目を迎え、これまで重い障がいのある当事者の学習（近年はオンラインでの学習機会を含む）をはじめ、市の委託事業では、防災をテーマに企業と協力し、医療的ケア児・者の支援に重要な災害時の知識や電源の確保に関する研修会、重い障がいのある人たちのコミュニケーションとして、ICT機器を活用した研修会を開催し福祉関係者のみならず、地域住民の参加を得ながら理解の促進に継続的に取り組んでいる。	学習 文化芸術 情報保障	重症心身障害
4	宮城県	特定非営利活動法人ポリス	とくていひえいりかつどうほうじん ぼりす	奨励者	7年	当団体は、2015年の設立後、障害者の就労支援をはじめとし、障害者の生涯学習に多大な貢献を果たしている。特に、2019年から開催している「こぐまサロン」は、幅広い生涯学習プログラムとなっており、令和3年度は年8回開催し、延べ500人以上が参加している。	学習 文化芸術 情報保障	すべて
5	宮城県	気仙沼市障害者スポーツ協会	けせんぬまししょうがいしゃすぽーつきょうかい	功労者	10年	障害者スポーツの普及・振興を図るとともに、地域に暮らす障害者のみならず高齢者の社会参加の推進に寄与することを目的とし、卓球バレーを主としたスポーツ教室を実施して会員の健康増進に努めるほか、老人クラブでの指導、他市との交流大会も実施している。	スポーツ	すべて
6	秋田県	秋田県ポッチャ協会	あきたけんぼっチャきょうかい	功労者	11年	定期的な練習会や交流大会を実施することで、障害者が日常的に集いスポーツや交流に取り組める生涯学習の拠点づくりに努めている。また、公共施設や民間企業などとも連携し、様々な機会に体験教室やPRイベントを行うことで、ポッチャ競技や障害者スポーツに対する県民の理解を深めている。	スポーツ	すべて
7	茨城県	土浦朗読の会	つちうらうどくのかい	功労者	48年	昭和48年の団体発足（43人）以来、録音図書の製作を継続的に実施している。また、声のマガジン「リッチボイス（昭和58年6月開始）」を作成し、視覚障害のある方から好評を得ている。併せて、土浦市や土浦市社会福祉協議会の広報紙等を音訳しており、視覚障害者への情報保障の面でも顕著な実績がある。	情報保障 学習	視覚障害
8	群馬県	太田点訳奉仕の会	おおたてんやくほうしのかい	功労者	47年	発足以来47年に渡り、市や社会福祉協議会と連携し、視覚障がい者に向けての通知文の点訳や、視覚障がい者より依頼があった際の文書や書籍の点訳を行っている。一般市民に向けて開催している初級点訳奉仕者養成講座・中級点訳奉仕者養成講座の講師を務めると共に、小中学校へ出向いての点字教室（年14校程度）を行っている。	情報保障	視覚障害
9	千葉県	学び舎コホミン（我孫子市湖北地区公民館）	まなびやこほみん（あびこしこほくちこうみんかん）	奨励者	2年	千葉県立湖北特別支援学校卒業生など知的障害のある障害者を対象とした、学習、スポーツ、文化芸術に関する生涯学習講座を2か月に1回以上の頻度で実施しており、障害者の生涯学習に貢献している。また、大学教授、地域住民、特別支援学校職員等からなる「学び舎コホミン運営協議会」が企画をし、各講座の運営を公民館、学生が行うことで、多岐にわたる講座の実施と、持続可能な仕組みの構築を実現し、障害者の生涯学習の継続について先導性があり、他の規範となっている。	学習 スポーツ 文化芸術	すべて

10	東京都	調布市立図書館 点訳者（調布プライム、点訳くすのき）	ちょうふしりつとしょかんでんやくしゃ（ちょうふぶらいゆ、てんやくくすのき）	功労者	41年	調布市立図書館の点訳サービスの点訳者として登録している方々が、ふたつのグループでそれぞれ市の刊行物や利用者個人の資料の点訳作業を行っている。長きにわたって、視覚障害者の読書活動をはじめとする生涯学習を支えている。	情報保障 学習	視覚障害者
11	東京都	フェルトブック	フェルトブック	功労者	37年	貫井図書館で布の絵本の製作、補修を行っているボランティア団体である。昭和60年に実施された布の絵本講習会の参加者を中心に、同年結成された。製作された布の絵本は現在102冊で貫井図書館に所蔵されている。	情報保障 学習 文化芸術	すべて
12	東京都	認定NPO法人 Hands On Tokyo	ハンズオントウキョウ	奨励者	13年	当該団体はボランティアに携わる人々の情報センターとして様々なプログラムを企画し、マッチングを行っている。その主な活動の一つに、障がい者等スペシャルニーズのある方の学習やスポーツをサポートする活動を継続して取り組んでいる。インクルーシブな社会を目指して、障がい者と健常者が共生する社会作りに貢献している。	学習 スポーツ 文化芸術 等	すべて
13	神奈川県	鈴木 秀雄	すずき ひでお	功労者	58年	障がい者支援、日本赤十字社会奉仕活動及び安全事業、公益財団法人日本自然保護協会での指導者育成等多方面・多領域において、障がい者に対する指導者育成、普及・推進を行っている。障害者の「生涯学習支援活動（社会活動・福祉活動）」については半世紀を超えて関わっており、それらの普及・振興・推進に精力的に携わっている。	学習 スポーツ 文化芸術 情報保障 その他	すべて
14	神奈川県	神奈川県FID（知的障害者）バスケットボール連盟	かながわけんえふあい でいー（ちてきしょうがいしゃ）バスケットボールれんめい	功労者	32年	県内6団体で構成されており、主催大会にはこの32年間を通して県内知的障害者社会人クラブチームはもとより、支援学校チーム、一般高校チーム、一般社会人クラブチーム、また都内、近県知的障害者社会人クラブチームの延べ約610チーム、障害者健常者合わせて選手約6,100人が参加した。知的障害がある社会人にとっては交流・親睦の場の提供、高校生においては学校休日の余暇活動の場の確保を主な目的に活動している。連盟の取組は、知的障害者にバスケットボールに親しむ場や、技能向上、障害のない人、他県チーム等様々な人々との交流を図る場を提供し、その中で自信を育み、特別支援学校卒業後に社会とつながり続けることに貢献している。	スポーツ 文化芸術	知的障害
15	富山県	車いすバスケットボールサークルREAL	くるまいすばすけつとぼうるさあくりある	功労者	15年	放課後等デイサービスや障害者福祉事業所等の利用者との交流をしている短期大学のエンパワメントサークルで、年齢、障害の有無等の垣根なく、車いすバスケットボールに参加する全ての人の「力を引き出す」「楽しむ」をモットーに、先輩からの思いを受け継ぎ活動を続けており、健常者と障害者が共にスポーツを楽しんだり、交流をしたりする場を提供している。	スポーツ	すべて
16	福井県	NPO法人越前市障がいスポーツクラブ	えぬぴーおーほうじんえちぜんししょうがいすぽーつくらぶ	奨励者	6年	障がいのある人や地域住民が障がいのあるなしに関係なく、継続的にスポーツをする環境をつくることを通して、健康づくり・仲間づくり・生きがいづくりを行い、地域参加や心温まる居場所づくりと自分の可能性に挑戦することの楽しさを実感できるような社会を目指すことを理念として活動している。	スポーツ	すべて
17	福井県	福井県卓球バレー協会	ふくいけんたつきゅうばれーきょうかい	奨励者	7年	卓球バレーを県内で普及させるために、講座や体験会、大会運営などの活動を行っている。活動にあたっては、依頼者の希望先に出向く出前形式（大会は除く）をとることで、障がい者の移動問題を解消し、日頃慣れた場所による安心感をもって参加できるようにしている。また、指導者養成講習会を開催して活動の担い手を増やす取組も行っている。	スポーツ 学習	すべて
18	静岡県	総合型地域スポーツクラブプラスワン「チャレンジ教室」	そうごうがたちいきすぽーつくらぶらすわん「ちゃれんじきょうしつ」	功労者	10年	障害があるため普通の運動が思うようにできず、スポーツ少年団等にも入ることができない子供たちのために、運動不足の解消やこれから運動が出来るようにすることを目的に教室を行っている。行政、スポーツ推進委員会、総合型地域スポーツクラブ、外部指導者の4者が連携し、定期的な教室開催を長年にわたり継続している。	スポーツ 学習	すべて

19	愛知県	点訳サークル てんてん	てんやくさーくる てんてん	功労者	32年	視覚障がい者に向けて市や社会福祉協議会が発行する情報誌の点訳活動を行っている。その地域貢献力は高く、市内小中学校で福祉実践教室の講師としても活動し続けるほか、視覚障がい者との交流を行い、互いの理解と信頼を高め合っている。	情報保障 学習	視覚障害
20	愛知県	音訳ボランティア こだまの会	おんやくぼらんていあ こだまのかい	功労者	37年	行政やNPO法人、社会福祉法人が発行する広報紙を幅広く音訳し、視覚障害者の情報保障に顕著な功績を残している。また、「声のたより」を自主製作し、会員独自の視点で話題提供に努めている。月1回の定例会を行うとともに、3年に1回開催する豊川市社会福祉協議会主催の「音訳ボランティア養成講座」の補助を行い、会員の技能向上と後進の育成に尽力している。	情報保障	視覚障害
21	兵庫県	手話サークル津名	しゅわさーくるつな	功労者	35年	発足当初から手話学習や聴覚障害者（ろう者）との交流を通じ、その生活・文化、聴覚障害者（ろう者）の直面する課題への理解を深め、これを地域社会に広げ、ろう者の言語である手話を広める活動をしている。また、ろう者をはじめ障害のある人々の完全な社会参加と平等の実現、共生社会の実現を目指して、様々な体験学習や交流会を定期的に主催し、学びの機会を提供している。	情報保障 学習	聴覚障害
22	奈良県	奈良県音訳グループ 草笛会	ならけんおんやくぐーぶくさぶえかい	功労者	55年	発足以来、奈良県盲人福祉センター（現奈良県視覚障害者福祉センター）の音訳図書を製作している。1998年の奈良シルクロード博覧会を契機にテープ図書として始まった「音声地図」は、現在はデジジー図書として製作、県内主要駅構内の改札口や階段、トイレ、点字ブロックなどを実際確認、計測し、安心して奈良の駅を利用できるよう案内している。	学習 情報保障	視覚障害
23	奈良県	ぐれいとぶっだ	ぐれいとぶっだ	功労者	28年	毎週日曜日、県内小学校や特別支援学校のグラウンドに集合し、全国障害者スポーツ大会出場を目標にソフトボールの練習や練習試合に取り組んでいる。近隣の高等学校・大学・社会人硬式野球部や地域のソフトボールチーム、県内総合型地域スポーツクラブ等との交流をはじめ、他府県のチームとも交流があり、HP等で積極的に情報発信も行っている。	スポーツ	すべて（主に知的障害）
24	岡山県	岡山桃太郎	おかやまもたらう	功労者	38年	玉野市身体障害者福祉連合会に事務局を置く、障害者軟式野球チーム「岡山桃太郎」は岡山県唯一の身体障害者軟式野球チームで、「障害者スポーツの実践を通じて社会との『共生』を図る」ことを目的に活動を行っている。各大会に出場したり、また健常者チームとの交流試合を行ったりすることを通して、親睦を深め、メンバーの身体機能の向上を図っている。	スポーツ 学習	すべて
25	広島県	点訳ボランティア「てんゆう会」	てんやくぼらんていあ てんゆうかい	功労者	48年	昭和49年に活動を開始し「視覚に障害のある人たちに、より多くの情報を届けたい」という思いのもと、48年間にわたってボランティアによる点訳等の活動を行っている。市と連携して、広報誌や日常生活に必要な情報等の点訳を行うほか、障害者の方からの要望に応じて、生涯学習に係る各種講座の資料や書籍等の点訳を行っている。	情報保障 学習	視覚障害
26	広島県	一般社団法人広島県インクルーシブフットボール連盟	いっばんしやだんほうじん ひろしまけんいんくるーしぶふつとぼーるれんめい	奨励者	4年	「サッカーがみんなとつながる架け橋になる」をテーマに、障害の有無に関わらず、誰もがスポーツの価値を享受し、活力ある共生社会の創造を目指す団体として、広島県における障害者サッカーの普及に努めている。競技大会や体験会などを通じて、障害者サッカーの認知度を高める様々な活動を精力的に展開するとともに、障害者と健常者が交流する機会を提供することで、社会の障害に対する理解を深め、障害者の社会参加の促進を図っている。	スポーツ	すべて
27	山口県	山口県障がい者スポーツ指導者協議会	やまぐちけんしょうがいはやすぼーつしどうしやきょうぎかい	功労者	30年	山口県地域の障がい者スポーツ指導者相互の連携を密にし、指導者の資質の向上を図るとともに、活動を促進し、障がい者スポーツの向上に寄与している。また、大会に向けた競技レベルの向上や、障がい者がスポーツをする際の補助を担う指導員の確保に尽力している。	スポーツ	すべて

28	徳島県	点訳燦の会	てんやくさんのかい	功労者	23年	1999年に発足以来23年にわたり、地域において毎年開催される「北島町点訳講習会」の講師として、点訳者の養成を続けている。県内のボランティア団体としては唯一の「サピエ図書館」会員として図書をアップロードしている団体であり、これまでに1000冊を超える点字図書の製作を行ってきた。	情報保障 学習	視覚障害
29	徳島県	藤岡 明美	ふじおか あけみ	功労者	25年	全国障害者スポーツ大会徳島県選手団卓球選手のコーチとして、71歳の現在に至るまで25年にわたり、自己研鑽を欠かすことなく、障がい者スポーツの選手育成及び普及促進に尽力されてきた。自身も障がい当事者であり、卓球選手としてパラリンピック等の国際大会への出場経験がある氏は、その豊富な経験と知識をもって、障がい特性を理解した指導を行っている。	スポーツ	すべて
30	愛媛県	おもちゃ図書館きしゃポッポ	おもちゃとしよかんきしゃ ぽっぽ	功労者	26年	障がい児に対して手づくりのおもちゃに触れあってもらいたいという意思をもつ有志が集まり、施設の一階にふれあい交流スペースを作り、子ども達が手づくりのおもちゃに触れ合うことで豊かな情操を育んできた。その活動は順次拡大発展し、高校生と協働で行っているクリスマスイベント、更には太鼓の演奏を通じて、発表会にも参加する機会を提供し、障がい児、障害者の自己実現につながる場を提供している。	学習 文化芸術	すべて
31	福岡県	NPO法人 しいだコミュニティ倶楽部	えぬびーおーほうじん し いだこみゆにていくらぶ	功労者	17年	障がい者と健常者が共同で実施する交流スポーツ教室の「ときめき教室」を開催している。この取組をきっかけに障がい者ボランティアスタッフ養成講習会や「スポーツ屋台村」などを開催し、障がい者の理解力、身体能力の向上に努めるなど顕著な成果を上げるとともに、地域における障がい理解を深め、共生社会の実現に努めている。	スポーツ	すべて
32	福岡県	NPO法人 くるめSTP	えぬびーおーほうじん く るめえすていーびー	功労者	17年	注意欠如多動症（ADHD）のある子どもを対象にスポーツやレクリエーション、学習、教え合い活動などを行う日帰りデイキャンプを実施している。また、医療・心理・教育を専門に学ぶ学生が本プログラムに関わっており、発達障害児・者の生涯学習支援に関わる専門家の育成・教育及び地域の連携強化にも大きく貢献している。	学習等	ADHD等の 発達障害
33	熊本県	オレンジはあとクラブ	おれんじはあとくらぶ	功労者	12年	12年にわたり、毎週1回3時間、車いすツインバスケットボールを行っており、近隣の大学生ボランティアの参加により、障がい者の方々との交流も行われるようになっている。障がい者のスポーツを支える環境を整えるとともに地域住民の障がい者に対する理解を高める活動を継続的にやっている。	スポーツ	すべて
34	大分県	ギャラリー通り実行委員会	ぎやらりーどおりじっこうい いんかい	奨励者	8年	2014年より「障がい者アート」イベント『ART BRUT@いみでらす』を主催。2018年の「国民文化祭・全国障害者芸術・文化祭おおいだ大会」を契機として障がい者の芸術文化活動および生涯学習への参画推進を目的に2019年大分県国東市が始めた「障がい者芸術文化参画推進事業」の受託団体として本格的に活動している。	文化芸術	すべて
35	大分県	レッツダンスでガッツ元気 の会	れつだんすでがっつげ んきのかい	功労者	24年	これまで24年の長きにわたって知的障がいがある方のための定期的なダンス練習会（月1回）等を継続してきた。障がい者が、自己表現と他者からの承認によって自己肯定感を得られるとともに、ボランティアとの交流を通じて視野や交友関係の広がりも生まれている。	スポーツ	知的障害
36	宮崎県	新富音声訳グループ 「たんぼぼ」	しんとみおんせいやくぐ るーぶたんぼぼ	功労者	29年	29年もの多年にわたって、町の広報紙を音訳した「声の広報しんとみ」を町内の視覚障がい者の自宅に届ける活動を行っている。その発行回数も717回（令和4年4月25日現在）を重ねており、町内の視覚障がい者にとって、町内の事業内容や生涯学習等の情報を保障する上で高い効果をあげている。	情報保障	視覚障害

37	宮崎県	宮崎大学ボランティア サークル「びいだま」	みやざきだいがくぼらん ていあさーくる「びいだま」	功労者	30年	宮崎大学の学生を中心としたボランティアサークルである。本団体は長年にわたり、宮崎県立こども療育センターに入所している重度・重複障がいのある児童生徒に対し、「学習指導」や犬との「ふれあい活動」を行ってきた。障がい者当事者の学習支援や地域社会との交流の機会の創出につながっている。	学習	肢体不自由
38	鹿児島県	手話サークル「てて」	しゅわさーくる「てて」	功労者	33年	33年もの長期にわたり、生涯学習講座への講師派遣や各種イベントでの手話通訳（情報保障）等のボランティア活動、聴覚障害者との交流活動（レクリエーション等）の企画などを行い、聴覚障害者の社会参加の促進を図るとともに、手話の普及に努めている。	学習 情報保障	聴覚障害
39	さいたま市	朗読ボランティア 岩槻 けやきの会	ろうどくぼらんていあ い わつきけやきのかい	功労者	43年	音声録音資料の作成や対面朗読など、地域に住む視覚障害者を中心とした市民に対する支援活動を行っている。視覚障害者からの依頼を受けて作成する音声録音資料には、科学的な内容のものや障害者活動支援に関する各種発行物なども含まれており、地域に暮らす方々の生活および知識向上のための一端を担っている。	情報保障 学習	視覚障害
40	新潟市	大橋 靱彦	おおはし ゆきひこ	功労者	27年	50歳（1994年）で網膜色素変性症により視力をほとんど失ったのち、音声パソコンを独学で習得し、病院内での指導を始めた。視覚情報を失うと共に離職や社会から断裂され、孤立感を深めやすい中途視覚障がい者に、再び社会参加や情報を得る手段として音声パソコンの技術を各地で伝え、当事者同士の交流、情報交換、エンパワメントの場となる教室の立ち上げに尽力し、現在も地元で活動を続けている。	学習 情報保障	視覚障害
41	福岡市	N P O 法人はあとス ペース	えぬぴーおーほうじん はあとスペース	功労者	12年	身体または知的に障がいがある児童を対象に車いすキッズ陸上教室を開催している。活動には個人だけでなく、企業や学校法人を含め多くの賛同者が加わり、練習会や記録会ではスタッフとして協力する他、医療系専門学校の先生や生徒が準備運動やストレッチを教えるなど、幅広い年代で団体と保護者が協力して取り組んでおり、障がいの有無にかかわらず参加者間の交流も盛んである。	スポーツ	すべて
42	滋賀大学	滋賀大学教育学部音楽 教育支援活動（滋賀 大学教育学部附属 音楽教育支援セン ター）	しがだいがくきょうい くがぶおんがくきょうい くしえんかつどう（しが だいがくきょうい くがぶふぞくおんが くきょういくしえん せんたー）	奨励者	7年	2015年頃から特別支援学校を中心に音楽のアウトリーチ活動を実施し、2020年10月には、全国でも珍しい、障害児者の音楽教育に特化した学部附属教育研究施設として、滋賀大学教育学部附属音楽教育支援センター（愛称：おとさぼ）が設立された。SDGsやダイバーシティの推進が謳われる今、ユニークで先進的な試みとして全国的に注目を集め始めている。	文化芸術・ 学習	すべて
43	北海道教育 大学	サマースクールin函館	さまーすくーるいんはこ だて	功労者	25年	特別支援学校や特別支援学級、通常学級に在籍している特別な教育的ニーズのある児童生徒、児童発達支援センターや認定こども園などに在籍している年長児を対象に、夏期休暇余暇支援プログラムを実施している。特別なニーズのある子ども達に学校や家庭では経験することのできない活動を展開するとともに、その活動の幅を広げ発展しており、函館市近郊在住の障害のある児童生徒にとって夏休みに欠かすことのできないイベントの一つとなっている。	学習 文化芸術 スポーツ	知的障害
44	大阪公立 大学	大阪公立大学 ポッ チャ部	おおさかこうりつだいが くほっちゃぶ	奨励者	15年	リハビリテーション学科理学療法専攻の学生を中心に、障がいの有無や年齢、性別に関係なく参加できるスポーツであるポッチャの特性を活かして、地域のポッチャ協会や小中学校、特別支援学校とも協力しながら、体験会やポッチャを通して障がいの理解を促すためのイベント等に参画している。	スポーツ	重度障害

45	大阪大学	蔭山 正子	かげやま まさこ	奨励者	7年	様々な生きづらさを抱える精神障害者は、出産や子育てなど不安な要素が多いライフステージにおいて他者や物事との出会いの機会を得ることも困難となり孤立を深めてしまいやすい課題がある。その課題に対する支援として、同じような経験のある当事者及び家族同士による「ピアサポートグループ」「ピア学習プログラム」の有効性に、いち早く着目し、当事者、子、配偶者を対象とした3団体の設立・運営（支援）をしている。その活動は各地に広がりを見せつつある。	学習 情報保障	精神障害
46	新潟大学	新潟大学工学部渡辺研究室	にいがただいがかこうがく ぶわたなべけんきゅうしつ	功労者	12年	視覚障害者の地理情報へのアクセスを保障している。地図の理解は、単に移動経路を知るだけでなく、街を知る、地域を知る、日本を知る、世界を知る生涯学習につながっている。視覚障害者のニーズに応じて、数千枚規模の触地図を視覚障害者に提供してきた。	情報保障 学習 文化芸術	視覚障害
47	長岡技術科学大学	長岡技術科学大学・ 苫小牧工業高等専門学校 障がい者用競技スポーツ用具の研究開発を通じた生涯学習支援活動	ながおかぎじゅつかがかくだ いがか・とまこまいこうぎ ょうこうとうせんもんがっこう しょうがいしゃようきょうぎ すぽーつようぐのけんきゅ うかいはつをつうじた しょうがいがかくしゅうしえん かつどう	功労者	11年	障がい者スポーツ用具の研究開発を通じて障がいのある人々への生涯学習支援活動に取り組んでいる。活動は単なる用具開発に留まるのではなく、支援した選手を教育・福祉・社会生活といった幅広い分野での講演会シンポジストとして招聘するなど、障がい者のキャリアアップを図るための基盤づくりにも貢献している。	スポーツ 学習	肢体不自由
48	九州共立大学	九州共立大学アダプテッド研究会	きゅうしゅうきょうりつだ いがかあだぶてっどけんき ゅうかい	功労者	22年	学生が支援者となって、知的障がい児や発達障がい児を対象とした体操教室を実施している。スポーツ教室を月に2回、第2、4土曜日に開催し、スポーツの考え方を重視して、多様な子どもたち個々に合ったスポーツの支援を工夫している。	スポーツ	発達障害 (知的障害を含む)
49	障害者の文化芸術を推進する全国ネットワーク	ダウン症児親の会「あひるの会」	だうんしょうじおやのかい 「あひるのかい」	功労者	33年	ダウン症児をもつ親の会としての相互支援、研修、他の障害児者団体・関連団体等との連携による活動とともに、ダウン症児を対象にした療育教室や年齢層に応じた余暇活動にも取り組んできている。地域を中心にイベントなどにも積極的にかかわりを持ち、ダウン症（障害児）の理解啓発と共にダウン症児の生活の充実に大きな貢献をしている。	学習 文化芸術 スポーツ	ダウン症
50	障害者の文化芸術を推進する全国ネットワーク	LOVEJUNX	らぶじゃんくす	功労者	19年	20年にわたりダウン症のある多くの人たちにダンス、歌、演劇を指導している。2003年から毎年開催している東京（近年は中野サンブラザホール）での公演をはじめ、全国各地で多数の公演、イベントに出演するなど、ますますの飛躍が期待される。	文化芸術	ダウン症
51	全国特別支援教育推進連盟	どれみふぁくらぶ	どれみふぁくらぶ	奨励者	12年	現在のメンバーは特別支援学校卒業生18名で、保護者やボランティアの支援を受けて活動している。日中は、通所施設や職場で仕事を行い、週に一度、夜間に宇都宮市内の公共施設を借用して練習を行い、練習の成果の発表の場として各種のイベントに参加して演奏をしている。	文化芸術	知的障害
52	全国特別支援教育推進連盟	小平養護・特別支援学校同窓会	こだいらようご・とくべつし えんがっこうどうそうかい	功労者	56年	東京都立小平特別支援学校の同窓会として、昭和41年に発足し、今年で56年目を迎えた。当事者である会員（卒業生）を支援者である特別会員・準会員（教職員等）が支援しながら、継続的に活動を続けており、毎年新しい会員も加入し、活動を継続している。	文化芸術	肢体不自由
53	全国特別支援教育推進連盟	土と色 ひびきあう世界京都展 実行委員会	つちといろ ひびきあうせ かい きょうとてん じっ こ ういんかい	功労者	40年	社会福祉法人等19か所の入所施設を利用する方々の陶芸・絵画等の創作活動における学びと成果（作品）を40年間にわたり「土と色 ひびきあう世界 京都展」として関係者が実行委員会を組織し、実践してきた。	学習 文化芸術	知的障害・ 重症心身障 害

54	日本パラスポーツ協会	一般社団法人日本パラサイクリング連盟	いっぽんしゃだんほうじんにほんぱらさいくりんぐれんめい	功労者	32年	パラリンピック等国際大会での選手の活躍に向けた活動を推進するとともに、地域での普及活動を実施している。現在、拠点としている福島県いわき市を中心に、重度身体障がいを抱える児童が通う特別支援学校などに出張して行うパラサイクリング体験やいわき自転車文化発信・交流拠点ノルルの事業内にて、視覚障がいの方やダウン症の方向けのタンデム体験会を実施している。	スポーツ学習	すべて
55	日本パラスポーツ協会	一般社団法人日本ポッチャ協会	いっぽんしゃだんほうじんにほんぽっちゃきょうかい	功労者	24年	パラリンピック等国際大会での選手の活躍に向けた活動を推進するとともに、地域での普及活動を実施している。重度障がいがあっても気軽にポッチャを始められるよう体験会や学校派遣事業等を実施し、中高生の全国大会ポッチャ甲子園の開催など積極的に選手発掘も行っており、気軽にポッチャを始められる環境づくりを地域行政と一緒に進めている。	スポーツ学習	すべて
56	日本パラスポーツ協会	一般社団法人日本車いすテニス協会	いっぽんしゃだんほうじんにほんくるまいすてにすきょうかい	功労者	31年	パラリンピック等国際大会での選手の活躍に向けた活動を推進するとともに、地域での普及活動を実施している。障がいの有無に関わらず、各々の目的に応じて車いすテニスを楽しめるようハード面・ソフト面での環境整備を進めている。また、車いすテニスを通じて、障がいのある方の社会参加・社会貢献への意欲を高め、垣根のない共生社会づくり、心のバリアフリー化の推進も図っている。	スポーツ学習	すべて